

知的書評合戦 ビブリオバトル IN 塩山³³

令和6年2月4日(日) 17:15~開催報告

第33回大会

テーマ: 『おし』

『オモニの歌』

岩井 好子/著 筑摩書房

夜間中学校に通った48歳の女性の話をもとにしたノンフィクション文学。文字を書けないまま育った女性の学校へ通い文字をかける・読めるようになった体験が書かれています。教育とはどうして必要なのか、現代の日本から教育の大切さと教育を受けられる喜びを学ぶことができる作品。教える(おしえる)ことに焦点を宛て紹介してくれました。



『風景印ミュージアム』

古沢 保/著 G. B.

郵便局で押してもらえる“風景印”。風景印を集めるのが趣味のバトラーがテーマに合わせて、消印を「押す」魅力を紹介してくれました。発表の途中、自分で集めている風景印のコレクションも持参して紹介してくれました。郵便物を出すだけではなく、郵便局によって違った消印を押してもらえる楽しさがあることを自分の経験も踏まえて発表してくれました。



『君のクイズ』

小川 哲/著 朝日新聞出版

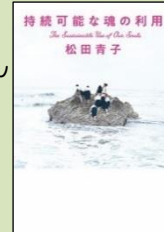
早押し(おし)クイズを題材にした小説。人が死なないミステリーと紹介してくれました。クイズ番組の決勝の時に問題が読まれる前にボタンを押して正解する人物が出てくるとのこと、どうしてそんなことができたのか気になります。物語の終わりにはその秘密がわかるのでしょうか?一風変わった謎解きを体験できそうな本を紹介してくれました。



『持続可能な魂の利用』

松田 青子/著 中央公論新社

紹介してくれたバトラーがずっと気になっていた本だったそうで、ふと目についた時に読んでみたとのことでした。二人の人物の視点が交互に変わって最後にはどんでん返しの結末になるとか…。お話の中でアイドルを「押し(おし)」て、どんどんはまっていってしまう人物が出てくるそうです。物語の結末が気になってしまう発表をしてくれました。



《塩山図書館で展示しています。展示棚にない場合は予約ができます。》



★第33回大会★
チャンプ本

『持続可能な魂の利用』 松田 青子／著 中央公論新社

《参加者のみなさんの感想》

- * 気になります！ふくせん回収の過程が読んでみたくなりました！
- * 不満が全て伏線になっているところがおもしろそうですね！
- * 読み手によって感じ方がちがう社会に対する不満が伏線となって回収されるところがおもしろそうですね！
- * 「推す」という営みを多角的にとるところがおもしろそうですね！
- * 自分の世界観では考えられないような出来事がおもしろそうですね！
- * どんな回収のされかたをするのか興味がわきました。
- * 読んで伏線の回収が知りたいです。
- * 違う世界観とはいつているところがおもしろそうですね！



★参加者のみなさんよりイベントの感想★

- とても魅力的な本ばかりで楽しかったです。
- おしというテーマに合う本が思いつかず出場できませんでしたが、いろいろあってそれぞれちがっておもしろかったです。
- いろいろな「おし」があって楽しかったです。バトラーさんの語り口も個性がでていて、それぞれの本の紹介とあっていたのが「なるほど～」と思いました。
- どなたも自分の思いが入った紹介で大変興味深かったです。楽しかったです！
- タイミングが合えばまたやります。

次回《第34回大会のご案内》★テーマ「フリー」ビブリオバトルIN塩山10年目！

発表者（バトラー）募集中！塩山図書館まで

令和6年6月2日（日）午後5時15分から塩山図書館 閲覧席にて開催予定

▲観覧者→当日時間までにお集まりください。▽当日の閲覧席利用は16：45までです